この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。

前里（まえさと） 光信（こうしん） 議員

◇町所有公共建造物の建替え

問 **西原町所有の公共建造物が古くなり、多くの建物の建替えの時期が迫ってきている。その対策はどのように考えているか。**

総務部長　昨年度策定した西原町公共施設等総合管理計画に沿って今後は取り組みを進めていく。中期的な視点を持って更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行っていく。現在教育施設の一部老朽化が進んでおり、教育委員会において優先順位を明確にしながら、個別計画を策定し対応していくことになる。公共施設の建設は多額の経費が必要となるので、町の実行計画や財政計画との整合を図りながら財政負担の軽減及び平準化に努めていく。

◇独り住まいの老人対策

問 **独り住まいの老人が亡くなって、死後何日か経過してから発見されるケースがある。それを防ぐ方法として西原町はどのようなことをやっているか。**

福祉部長　本町でひとり暮らしなどで見守りが必要な高齢者等に対し、配食サービス事業及び高齢者緊急通報システム事業を実施し、見守り及び緊急時の対応を行っている。また、社会福祉協議会の事業だが、自治会による見守り隊の事業が展開されている。

◇子どもの貧困対策事業を問う

問 **子どもの貧困対策の一つとして、各自治会が居場所づくりの事業をやっていると思う。その実態はどうなっているのか。**

福祉部長　地域の自治会事務所を開所していただき、地域の人たちの協力のもと、老人クラブ等との連携やグラウンドゴルフ、大正琴ほか、地域の人的資源やボランティアを活用した学習支援、簡単な食事支援等など、さまざまな活動を実施している。昨年は、小波津団地自治会を含め4自治会で延べ2，578人の子どもが参加した。

大城（おおしろ） 誠一（せいいち） 議員

◇放課後児童クラブ待機児童解消は

問 **平成29年度と30年度の待機児童数は。**

福祉部長　両年度とも5月1日現在で、29年度は14人、30年度42人。

問 **待機児童の解消方法は。**

福祉部長　新規クラブを開設し、受け皿を増やすことが一番の対策である。

◇登校支援事業の復活は

問 **平成30年度は登校支援員が廃止になった。事業の復活の見込みは。**

教育部長　平成27年度から29年度まで一括交付金事業を活用し、全小中学校に支援委員を配置してきた。これにより先生方の負担軽減が図られるとともに、児童の心が開かれ、登校し始めるなど、数々の実績を上げてきた。しかし本町の厳しい財政状況において苦渋の判断により廃止した。現時点では、復活のめどはたっていない。

◇農業生産法人西原ファーム経営は大丈夫か

問 **経営改善状況は。**

建設部長　この法人の平成29年度第7期の事業は、収入面で、当初計画2，196万円に対し、決算額2，300万円（達成率104％）、当期損益で、当初計画587万円に対し、決算額193万円（達成率33％）で、設立から7期目で黒字転換している。

◇麻疹は止められるか

問 **うがいや手洗い、マスクでも防ぐことができない麻疹、予防方法は。**

福祉部長　予防接種が最も有効である。

問 **29年度本町の接種率は。**

福祉部長　1歳児が対象となる第一期の接種率が83．8％、就学前児童が対象となる第2期が91．7％。

問 **全体のどのくらいの人が予防接種をしていれば蔓延は予防できるか。**

健康支援課長　接種率（特に1歳児）が95％以上あれば、新規患者は抑制できる。

この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。

与儀（よぎ） 清（きよし） 議員

◇火葬場建設

問 **久米島町では、1979年に建設した火葬場の老朽化に伴い、一括交付金を使って、町内儀間に葬祭場と火葬場を併設した「久米島斎場」を建て、今年5月1日から供用を始めている。2016年度に着工し、火葬炉は2基で、総事業費は6億150万円とのことである。本町においても、一括交付金の活用を模索し、断念した経緯があるわけで、どういうことが説明をお願いしたい。**

総務部長　久米島町には葬祭場がなく、核家族化やアパートなどがふえたことに加え、火葬場も老朽化し、離島であるがゆえの不便を解消、安心して住みよい環境を整えるために一括交付金を活用して施設整備をしている。本町が参加していた中部南地区火葬場・斎場建設に向けては、各種補助金や一括交付金の活用を視野に入れて取り組んでいたが、財源の確保は厳しい状況だった。また、火葬場・葬場建設の候補地となっている地域の反対もあり断念した。

◇名前の旧漢字化の問題

問 **近ごろよく耳にすることであるが、名前が新漢字から旧漢字になり難しくなったということだ。例えば、与那城、与那嶺の「与」の字、長浜、大浜の「浜」の字などである。私も自分の名字「ヨギ」を、新漢字の「与儀」で半世紀（50年程）近く使用してきたが、最近は、新漢字から旧漢字に書き直しを求められることが多くなった。それで伺いたい。新漢字にする方法はあるのか。簡単な手順などがあれば教えていただきたい。**

建設部長　新漢字にする方法があるのかということについてお答えする。町民課において申出書を提出し、旧漢字を新漢字に名字を更正することができる場合があるので、町民課の窓口で可能となる。

与	→	與	浜 →	濱
礼	→	禮	栄 →	榮
国	→	國	恵 →	惠
広	→	廣		

※ほんの一部を掲載

異体字と常用漢字